

令和6年度 我が校の学ぶ力向上策

【市町 目標】

IKOKA学習デザインを基盤とした、主体的・対話的な深い学びの実現を目指し、学ぶ楽しさを実感し、確かな学力を育む教育の充実
 ○「読み解く力」向上を図るための授業開発、実践の推進を図る。
 ○「主体的・対話的で深い学び」「個別最適な学び」のツールとしての効果的なICT活用の促進を図る。
 ○いじめを許さず、支え合い学び合う集団を育てる学級、学校づくりの充実を図る。

【学校 目標】

○主体的な学習習慣を形成し、基礎基本を徹底する。
 ○家庭や地域と連携し、ふるさと貴生川について、自ら学び発信できる学習環境づくりに努める。
 ○いじめを許さない風土を醸成し、安心して過ごせる・居場所のある学校(学級)をつくる。

【現状と課題】

○視点1 児童は、課題に対し真面目に粘り強く取り組むことができる。しかし、主体的に学習に取り組んだり他者とのやりとりから読み解き理解したりする力に関しては課題がある。
 ○視点2 友だちと協働し課題を解決することで、自分の学びを深め、広げ、高めることに至っていない。
 ○視点3 全教職員の共通理解を図り、OJTを取り入れ実践を積んでいる。さらに、本校の課題を明確にし、日々の授業実践につなげる必要がある。

取組事項および評価指標

※評価:【達成状況 90%以上→A 70%以上90%未満→B 70%未満→C 時期→1回目:7月 2回目:12月】
 ※達成状況の割合(%)は、目標数値に対する達成状況の割合です。

【視点1】子どもたちが主体の授業づくり			
取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
①子どもが、進んで課題を解決するために、進んで他者と関わり、「こんなことを学びたい!」「こんな力をつけたい!」と前のめりになる授業を創造する。	①学習することが楽しい。(学校生活アンケート)強い肯定50%以上		

【視点2】学びを支え合う集団づくり			
取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
①互いの違いを認め合い、自分の思いや考えなどを安心して表現できる学級づくりをする。	①決まりを守り、正しいと思うことに進んで取り組んでいる。(学校生活アンケート)強い肯定60%以上		

【視点3】協働して取り組む学校づくり			
取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
①「我が校の学ぶ力向上」の取組について、全教職員の共通理解を図り、OJTを取り入れ、自分の実践につなげる。	①教職員アンケート「主体的・対話的で深い学びの実現」に対する肯定的な回答の割合80%以上		
	①教職員アンケート「誰もが安心して、居場所のある学校づくり」に対する肯定的な回答の割合90%以上		

◇「学ぶ力向上策」の実効性を高めるために、いつ、どのように職員全体で共通理解を図り、共通実践し、検証・改善していくのか、時期や手立て等を記載してください。

- ・4月当初の職員会議で、校長の経営方針を分かりやすく説明し、全職員に1年間の方向性を浸透させる。課題に対する具体的な対策は、3つの部会に分かれて協議する。
- ・視点1は主に研究主任が、視点2は主に教務主任・学年主任が、視点3は校長・教頭が中心となって、組織的な実践につなげる。
- ・課題に応じて、月ごと、学期ごと、半学期ごとに検証し、最終ゴールをイメージしながら改善して進めていく。
- ・3つの部会や校内研究、企画会議等のまとめを全職員で共有する。アンケートや調査結果は、校報及びホームページを活用し、保護者・地域等に対し積極的に発信する。

今年度の取組の成果と課題

--